

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	母子保健(歯科保健含む)	コード	作成者	役職	保健課長
		02-02-01		氏名	難波 巧
			電話	64-1819	
			このシート作成に要した時間		2.0 時間

この施策のアピールポイント	妊産婦が安心して出産、育児を行え、乳幼児が自立した生活習慣を身に付けられるよう一貫した母子保健を推進
---------------	--

この施策の平成24年度の施政方針	母子保健についてであります。妊婦健診の助成により、母子の健康管理の充実を図るとともに、引続き特定不妊治療に対する助成も行い、妊娠・出産に係る経済的負担の軽減を図ってまいります。また、すこやか相談室での相談事業や保健師による全乳児の家庭訪問及び任意予防接種の助成の継続などにより、安心して妊娠・出産・育児ができるよう母子の一貫した支援を実施してまいります。
------------------	---

< 備前市総合計画の内容から記載する >

政策の体系	基本目標(大項目)	健康でやさしさあふれるまちづくり
	基本施策(中項目)	やさしさあふれるまちづくり
対象と目的 (誰のために、何のために)	市民が安心して子どもを育てるようにする。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	少子化傾向が強まる中、公衆衛生の向上や医療技術の進歩により、多くの病気を治せるようになってきた。しかし、家庭や地域における子育て機能の低下、児童虐待の増加、肥満に関連した生活習慣病の出現など新たな問題も発生している。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 一貫した母子保健の推進(母子健康手帳交付、育児相談事業、妊婦及び乳幼児の健康診査、乳児全戸訪問など) 感染症予防(予防接種) 生活習慣病予防(食育) 	

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

成果指標	施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
			H22	H23	H24		H25	H28
乳幼児健診受診率	目標	%	90.0	90.0	90.0	受診者数/検診対象者数	H25	90.0
	実績	%	84.4	86.1	87.0		H28	90.0
	達成率	%	93.8	95.7	96.7		-	-
	ベンチマーク		86.8	88.2			岡山県の受診率	-
3歳児健診時麻疹接種率	目標	%	95.0	95.0	95.0	3歳児のうち麻疹接種者数/3歳児数	H25	95.0
	実績	%	95.5	95.8	92.3		H28	95.0
	達成率	%	100.5	100.8	97.2		-	-
	ベンチマーク		95.6	96.5			岡山県の3歳児麻疹接種率	-
3歳児肥満率	目標	%	2.0	2.0	2.0	3歳児のうち肥満児数/3歳児数	H25	5.0
	実績	%	5.9	8.0	7.0		H28	5.0
	達成率	%	51.3	25.0	37.5		-	-
	ベンチマーク		5.3	5.0			岡山県の3歳児肥満率	-
3歳児朝食欠食率	目標	%	10.0	10.0	10.0	3歳児のうち朝食欠食者数/3歳児数	H25	5.0
	実績	%	10.5	12.9	7.2		H28	5.0
	達成率	%	95.0	71.0	128.0		-	-
	ベンチマーク						-	-

目標達成に必要な新規事業(裏面 施策構成事務事業以外の事業)及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
保育園・幼稚園	乳幼児健康診査事業・予防接種事業	要観察児のフォロー
中央公民館	ブックスタート事業	4ヶ月健診時に読み聞かせ

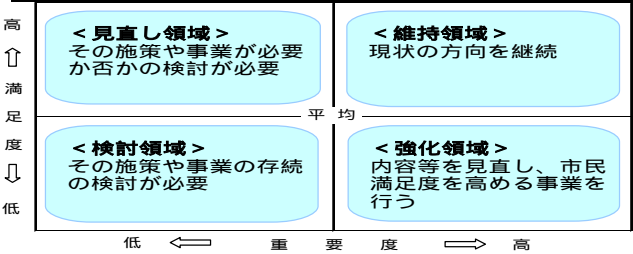
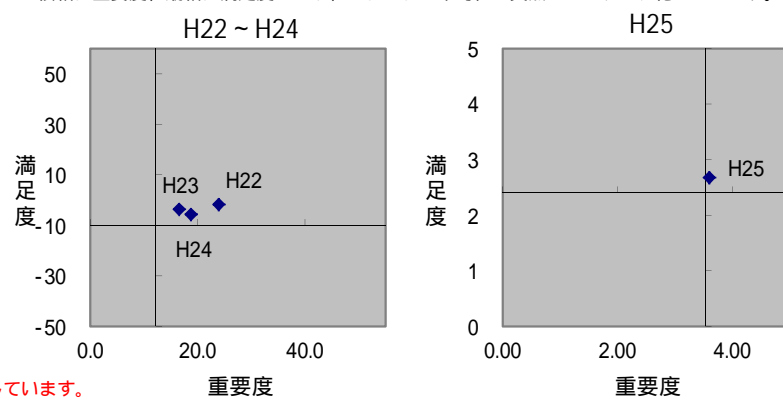
施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い				
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)				
1	<成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	4	妊娠期から就学前までの各期に応じて事業を実施しているが、健診受診率は一番の基礎となる指標である。			
2	<事業構成の妥当性> 手段は最適か?	4	妊娠期から就学前までの各期に応じた事業構成としている。			
3	<施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	4	乳幼児期の健康サポート体制は、利用しやすさを基準に企画している。			
進行年度(H25年度)の取組内容(課題解決状況)		公費負担化した妊婦乳児健康診査を実施する。不育治療に対する助成を実施する。公費負担化した子宮頸がん等ワクチン接種事業を実施するとともに、予防接種等の取扱変更について、素早い情報入手に努め対応を検討する。マザークール事業のあり方、体制について関係者で協議し、連携を図る。				
翌年度(H26年度)の取組目標		予防接種の内、定期接種となっているもの及び補助対象となるものについて、国の勧奨に対する動向等を把握しながら、広報等により適切な勧奨を行い、接種率の向上を図る。マザースクール事業について関係者と連携を図る。				
二次評価者コメント		母子の健やかな成長のために、安心して利用でき、気軽に相談できるよう信頼関係を築くとともに、健診の受診率アップに努めて下さい。				基本施策への貢献度 4 やや高い
役職 保健福祉部長 氏名 金光 亨						

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H22	H23	H24	H25
重要度(%)	23.9	16.5	18.7	3.60
満足度(%)	-1.7	-3.6	-5.6	2.68

横軸に重要度、縦軸に満足度を取り、それぞれの平均値を交点としてグラフ化しています。



H25から数値の採取方法を変更したため、別グラフで表示しています。

調査結果に対するコメント、市民の反応等	安心して子育てができる環境を多くの市民が望んでいる。住みよいまちとは、家庭や地域に教育力があるところと多くの市民が認識している。「安心して子どもを育てることができると感じている市民の割合」は、H22年17.4%、H23年20.2%、H24年16.2%となっている。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

